

選定基準別提案内容と事業実績の確認

施設名	山岳スポーツセンター
指定管理者名	神奈川県公園協会・小田急電鉄共同事業体
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	スポーツ課

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)			
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(1)	指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等	基本姿勢及び管理運営方針	5	5	○指定管理業務全般を通じた団体等の総合的な運営方針、考え方	○秦野戸川公園と山岳スポーツセンターの一体的な管理運営	○公園内にある3施設で連携し利用促進を図った。（公園イベントを協働して実施）	3施設で連携してイベントを実施し、利用者サービスの向上に努めた。	○		
						○秦野戸川公園と山岳スポーツセンターの一体的な管理運営にあたっての基本的考え方	○両施設の連携と協力等によるサービスの充実 ○一体的な管理運営による経費悪減	○3館（秦野戸川公園、秦野ビジターセンター、山岳スポーツセンター）合同イベントを開催した。	3館で連携してイベントを実施し、利用者サービスの向上に努めた。 引き続き、適切な管理運営に努めてもらいたい。	○		○ 月例業務報告
						○両施設固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針	○クライミング競技、登山の振興による地域振興の核となる施設づくり	○登山やクライミングウォールの体験イベント等を開催した。	両施設の特性を踏まえたイベントを実施し、利用者サービスの向上に努めた。 引き続き、適切な管理運営に努めてもらいたい。	○		○ 月例業務報告
						○利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針	○利用者の満足が得られる管理運営	○利用者満足度アンケートを実施し利用者のニーズ把握に努めた。ゼロエミッション等環境に配慮した維持管理を行った。	アンケートの実施により、利用者の意見や要望を把握することができるので、今後も継続して行っていただきたい。	○		○ 月例業務報告 満足度調査
						○スポーツ・競技振興に関する考え方	○神奈川県山岳連盟と連携し、山岳スポーツの振興を進める	○登山者、クライミング利用者及び初心者を対象にイベントを開催しスポーツ振興に努めた。（親子体験クライミング）	関係団体と連携して競技振興に努めた。 引き続き、適切な管理運営に努めてもらいたい。	○		○ 月例業務報告
						○業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等	○専門技術を要する管理業務等を委託する	○高度な技術や専門的な資格を有する業務は専門業者に委託し、適正な管理運営に努めた。	必要に応じ最適な業者への業務委託を行った。 引き続き、適切な管理運営に努めてもらいたい。	○		○ 月例業務報告
	(2)	施設の維持管理	都市公園施設及びスポーツ施設、植物の維持管理業務の実施方針	10	8	○一体的な管理運営による効率的な維持管理（経費節減効果を含む）	○公園スタッフ、事務処理、外部委託業務などについて一体的管理により運営する。	○公園スタッフの兼務や一体での事務処理や外部委託を実施した。	スタッフの兼務や適切な外部委託により効率的な維持管理に努めた。 引き続き、適切な維持管理に努めてもらいたい。	○		
						○両施設の特性と課題を踏まえた維持管理の考え方	○クライミングウォールの安全管理の実現や宿泊研修棟の新型コロナウイルス感染症対策の徹底を行う。	○クライミングウォールの日常点検や専門業者による点検により、安全性を確保するため、施設管理を行った。 ○新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインに沿った適切な対策を行った。	専門知識を有する業者の点検による安全管理の徹底など、日頃から安全な施設管理に努めている。 引き続き、適切な維持管理に努めてもらいたい。	○		○ 月例業務報告
						○施設保守点検業務、小破修繕業務等の実施方針	○クライミングウォール、宿泊棟の維持管理	○クライミングウォール：職員による日々の目視点検、専門業者委託による定期点検を実施。 ○宿泊棟：直営による布団干し、委託による病害虫防除実施 管理物品は毎月初めに状況を確認。	経年劣化による備品の劣化や設備の故障に対して、迅速な修繕をするよう努めている。 引き続き、適切な維持管理に努めてもらいたい。	○		○ 月例業務報告
						○清掃業務、受付業務、警備業務等の実施方針	○宿泊棟の清掃	○食堂、厨房の衛生面、トイレ、シャワー室のきめ細かな清掃に配慮し安全な施設の維持に努めた。	職員による日常清掃に加え、委託による清掃管理を行うことにより常に清潔で快適な環境の維持に努めた。 引き続き、適切な維持管理に努めてもらいたい。	○	○	○ 月例業務報告
						○樹林地や草地の管理、樹木、芝生、草花などの植物管理業務等の実施方針	○大会等で観覧席となる芝生の管理、秦野戸川公園と連携した花修景の実施	○中低木類の剪定を直営で実施。 ○観覧席の芝生は専門業者に発注し維持管理を行った。 ○季節の草花を館内に植えて維持管理に努めた。	必要に応じ最適な業者への業務委託を行った。 引き続き、適切な維持管理に努めてもらいたい。	○	○	○ 月例業務報告
	(3)	利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	利用促進の取組	10	9	○両施設の特性や利用状況（繁忙期・閑散期等）、新しい生活様式などの社会状況に応じて、多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、内容等（有料施設は除く）	○新しい生活様式に対応した利用促進を図る	○キャッシュレス化を導入し、利用者の利便性向上を図った。	利用者目線に立った施設運営により利用促進に努めている。 引き続き、適切な利用促進に努めてもらいたい。	○		
						○有料施設における利用者増及びサービス向上に資する事業の実施方針、内容	○公園と合わせた合宿等の団体利用者へのサービスの充実	○クライミングコンペオール神奈川2022の開催や親子体験クライミング等を実施した。	施設の特性を生かした利用促進に努めている。 引き続き、適切な利用促進に努めてもらいたい。	○		○ 月例業務報告
						○多くの利用を図るために行う広報・情報発信の工夫等	○山岳連盟等との連携により情報発信を行う。	○県山岳連盟公式WEBサイトで、山岳SCで開催されるクライミング教室や登山教室、体験クライミングなどのイベント等の情報発信を行った。（リードクライミング教室、スピードクライミング教室、指導者養成研修）	関係団体と連携し、さらなる利用促進に努めていた。 引き続き、適切な利用促進に努めてもらいたい。	○		○ 月例業務報告

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)				
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他		
I サービスの向上	(3)	利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	利用促進の取組	10	9	○より多くの利用を図るために実施する登山・スポーツクライミングの振興に関する取組の実施方針、内容等	○神奈川県山岳連盟との連携	○登山指導者育成、クライミング普及事業等を実施した。	関係団体と連携し、さらなる利用促進に努めていた。引き続き、適切な利用促進に努めてもらいたい。	○		○	月例業務報告
						○クライミング競技の振興・登山教室の振興	○登山教室：年10回 参加者145名 ○冬山教室：年1クール（全5回） 延べ参加者112名	関係団体と連携し、さらなる利用促進に努めていた。引き続き、適切な利用促進に努めてもらいたい。	○		○	月例業務報告	
			利用促進の取組	10	9	○秦野市のはだの丹沢クライミングパークと協働したスポーツクライミングの利用促進（普及啓発等）の取組や自主事業の内容	○山岳スポーツ普及イベントの合同開催 ○チラシ、ホームページでの一体的な情報発信	○山の日（8/11）に合わせて、山岳スポーツセンターでは「体験クライミング」、はだの丹沢クライミングパークでは「ボルタリング教室」を開催した。 ○両施設のパンフレットを置き、相互案内周知に努めた。また、イベント、大会等の開催チラシを配架し情報発信した。	関係団体と連携し、さらなる利用促進に努めていた。引き続き、適切な利用促進に努めてもらいたい。	○		○	指定管理者から聞き取り
						○両施設の特徴をより効果的に活かすために行う自主事業の内容等	○バーベキューセットの貸出、インスタントカップ麺の販売	○自炊施設のため、食事機能の補完として、カップ麺の販売、バーベキューセットの貸出や、地元仕出し屋の斡旋などを行った。	施設の特徴を生かした利用促進に努めている。引き続き、適切な利用促進に努めてもらいたい。	○			
						○利用料金の設定、減免の考え方（有料施設がある場合のみ）	○利用料金設定を上限額とする。 ○減免は、県条例に基づき、県の承認を得て実施する。	○利用料金設定を上限額とする。 ○減免は、県条例に基づき、県の承認を得て実施する。	対象となる事業において利用料免除・減額を行った。今後も条例に基づいた減免を行い、利用者サービスを実施していただきたい。	○			
						○両施設を一体的に運営することにより展開する、利用促進のための企画・取組	○複数施設合同イベントの開催	○クライミングコンペオール神奈川2022の開催や親子体験クライミング等を実施した。	施設の特徴を生かした利用促進に努めている。引き続き、適切な利用促進に努めてもらいたい。	○		○	月例業務報告
			利用者対応・サービス向上の取組	5	4	○接客や利用者との対話、利用ルールの利用者への助言、指導等の考え方	○基本的な接客や利用者との対話	○職員が利用者本位の心構えで対応を行うことを徹底した。	利用者アンケートで高い満足度（満足度100%）を得ていることから、引き続き、適切な利用促進に努めてもらいたい。	○			
							○利用ルールの周知	○利用者の声に耳を傾けつつホームページやパンフレット、施設案内チラシなどで利用者に公正に説明した。	利用者へ適切に周知を行っている。引き続き、適切な利用促進に努めてもらいたい。	○			
						○サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の事業等への反映の仕組み等	○情報共有による利用者サービスの向上	○ホームページで施設予約状況をこまめに更新する等利用者の利便を図った。 ○おもてなし五箇条の実践や利用者満足度調査を実施した。	利用者との双方向コミュニケーションを重視したホスピタリティ溢れる接客に努めた。引き続き、適切な利用促進に努めてもらいたい。	○			
							○外国人、障がい者、高齢者等誰もが円滑に施設利用するための、コミュニケーションにおける工夫及び必要に応じた支援の方針	○ユニバーサルサービスの提供	○視覚障がい者を対象とした体験クライミングを実施した。また、窓口には高齢者への配慮として老眼鏡を用意した。	誰もが使いやすい施設づくりに取り組んでいる。引き続き、全ての人に使いやすい施設づくりに努めてもらいたい。	○		
	○神奈川県手話言語条例への対応	○職員への教育 ○手話の使用環境の向上				○職員への手話講習会の開催、手話講習会を受講した職員による対応を行った。	障がいの有無にかかわらず、誰もが使いやすい施設づくりに取り組んでいる。引き続き、全ての人に使いやすい施設づくりに努めてもらいたい。	○		○	指定管理者からの聞き取り		
	(4)	事故防止等安全管理				日常の事故防止、緊急時の対応	10	8	○指定管理業務を行う際の両施設の特徴を踏まえた事故防止等の取組内容	○熱中症警戒アラートへの対応	○夏場に屋外クライミング施設の上部に日除けテントを設置するとともに大型扇風機設置による熱中症対策を行った。	熱中症対策として、適切な対応を行っている。引き続き、適切な安全管理に努めてもらいたい。	○
			○樹林地の過密化や巨木化等に起因する災害を未然に防止する点検等の考え方	○日常点検を行い、適切な森林整備を進める。	○事故防止、火災防止や犯罪防止のため、職員による日常点検や樹木の間伐等を実施した。				適切な事故防止、火災防止等に努めている。引き続き、適切な安全管理に努めてもらいたい。	○		○	月例業務報告
			○事故・不祥事等の緊急事態が発生した場合や安全管理の妨げとなりうる事案を認知した際の対応方針（対応方針には、利用者には外国人や障がい者、高齢者が含まれていた場合を含む）	○「事故防止マニュアル」による職員への訓練と緊急時の体制、適切な備えを講じる。	○「事故防止マニュアル」による職員への訓練と緊急時の体制、適切な備えを講じた。				緊急時の対応を想定した体制づくりに努めている。引き続き、適切な安全管理に努めてもらいたい。	○		○	月例業務報告
			○急病人等が生じた場合の対応	○職員への定期的な教育訓練・AEDの活用を講じる。	○職員への定期的な教育訓練により上級救命講習受講者の配置、AED設置により急病人等の発生に備えた。				緊急時に備えた取組を実施している。引き続き、適切な安全管理に努めてもらいたい。	○		○	月例業務報告
			○新型コロナウイルス等の感染症に対する対応方針	○新型コロナウイルス感染症対策の実施	○「新型コロナウイルス対応ガイドライン」により、検温、体調管理の報告及びマスクの着用、手指消毒、職員による定期消毒を行うなど感染拡大防止に努めた。				ガイドラインに従い、適切に感染拡大防止に努めた。引き続き、適切な安全管理に努めてもらいたい。	○		○	月例業務報告
			○登山・スポーツクライミング競技の危険性に鑑み、指定管理業務を行う際の事故防止等の安全確保に関する取組	○指導員や資格を持った職員を配置し利用者への指導。 ○クライミングウォール等の点検の徹底。	○指導員や資格を持った職員による利用者への指導を実施した。 ○クライミングウォールの職員による巡回チェック、専門業者に委託しての安全点検と保全管理を実施した。				安全を第一に適切な取組を実施している。引き続き、適切な安全管理に努めてもらいたい。	○		○	月例業務報告

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)					
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他			
I サービスの向上	(4)	事故防止等安全管理	災害への対応 (事前、発生時)	5	5	○異常気象（大雨、台風、熱中症アラート等）への対応方針（事前、初動、発生時、応急復旧時）	○気象災害への対応	○大雨警報等発表時にはパトロールを行い報告した。防災訓練を実施（年2回）した。	異常気象に備えた準備に取り組んでいる。引き続き、適切な安全管理に努めてもらいたい。			○	月例業務報告	
						○公園の「震災時対応の考え方」に示す初動体制等への対応	○震災時対応	○災害発生時等の緊急時における初動体制の確認など適切に行った。	災害発生時の参集体制と配備体制を適切に整えている。引き続き、適切な安全管理に努めてもらいたい。	○		○	月例業務報告	
						○大規模災害発生時の公園の特性、立地状況等に応じた災害対応の考え方（地域との連携、防災訓練、災害発生時の協力等）	○防災訓練等	○職員参集訓練の実施（年1回）	秦野戸川公園と合同で訓練を行うことにより、効果の高い訓練を実施している。引き続き、適切な安全管理に努めてもらいたい。	○		○	月例業務報告	
	(5)	地域と連携した魅力ある施設づくり	地域との連携体制、取組	5	4	○多様な主体（地域人材、自治会、関係機関）との連携、協力体制の構築等の取組内容	○地域、関係機関との協力体制の構築・地域振興に関する取組	○体験クライミングについて、委託先である県山岳連盟と随時調整の上、指導員の協力を得て行き、利用拡大を図った。	関係団体と連携し、利用拡大に努めた。引き続き、魅力ある施設づくりに努めてもらいたい。	○			○	月例業務報告
						○ボランティア団体等の育成・連携、協働の取組内容	○団体と連携した登山者の事故防止や救助などを実施。	○丹沢山小屋組合と連携し山岳情報の収集、意見交換を行った。	関係団体と連携し、登山者が安全に利用するために必要な情報を得ることができた。引き続き、魅力ある施設づくりに努めてもらいたい。	○		○	月例業務報告	
						○周辺施設（他の公園・施設等）との交流・連携の内容	○近隣の幼稚園、保育園などの様々な校外活動に協力し、学ぶ場を提供する。	○遠足に来た幼稚園・保育園児に2mトラバースを利用してもらうなど、学校活動支援や利用拡大を図った。	今後の利用者拡大や運動の促進等に努めた。引き続き、魅力ある施設づくりに努めてもらいたい。	○		○	月例業務報告	
						○一体的な管理における地元企業への業務委託等による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組内容	○地域企業等への発注を優先的に行う。	○清掃業務や植物管理委託、建物保守業務等について秦野市内の事業者へ委託した。	地域に根差した施設づくりに努めた。引き続き、魅力ある施設づくりに努めてもらいたい。	○		○	月例業務報告	
						○地域振興に関する取組・集客促進や地域経済の活性化につながる企画、地域活性化に資する取組等	○観光資源である登山の振興を図るほか、地域活性化への効果が期待される連携の取組を進める。	○遠足等の利用による野外2mクライミングウォールの案内や、秦野戸川公園と連携した運動等の利用促進を行った。	今後の利用者拡大や運動の促進等に努めた。引き続き、魅力ある施設づくりに努めてもらいたい。	○		○	月例業務報告	
						○秦野市のはだの丹沢クライミングパークと協働し、3つのクライミング施設を活用した地域経済活性化に繋がる取組（イベント、教室、講習会等）	○クライミング拠点としてのイベント開催、広報・PR、「4館調整会議」による相互利用促進	○公園、秦野VC、山岳SC、はだの丹沢CPによる「4館調整会議」を定期的に開催し、イベント予定や実施後の報告により情報共有を行った。また、丹沢の自然や登山の情報を掲示し安心安全な登山を推進した。	地域活性化を図るため、会議の開催により、各施設間の相互利用促進に努めた。引き続き、魅力ある施設づくりに努めてもらいたい。	○		○	指定管理者からの聞き取り	
						○指定管理業務を実施するために必要な団体等の企業倫理・諸規程の整備、施設設備の維持管理に関する法規や労働関係法規などの法令遵守の徹底に向けた取組の状況（労働条件審査の実施予定など施設職員に係る労働条件の確認の有無を含む）	○指定管理業務を実現するために必要な団体等諸規程の整備、法令順守の徹底に向けた取組の状況	○各種法令等に基づき施設の適正管理に努めた。	各種法令等を職員に徹底することにより、事故、不祥事を防止している。引き続き、適切な取組に努めてもらいたい。	○		○	月例業務報告	
○指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況	○環境への配慮	○ゼロミッションへの取組として、コピー用紙の裏面再利用、電気、ガス、水道、灯油等の使用削減に努めた。	環境に配慮した取組に努めている。引き続き、適切な取組に努めてもらいたい。	○		○	月例業務報告							
III 団体の業務遂行能力	(9)	コンプライアンス、社会貢献	コンプライアンス、社会貢献	5	5	○法定雇用率の達成状況等、障害者雇用促進の考え方と実績	○障がい者への就労機会提供の取組を進める。	○法定雇用率について達成済み。 ○障がい者雇用を行う企業等への積極的な業務発注を進めている。	障がい者支援に積極的に取り組んでいる。引き続き、適切な取組に努めてもらいたい。	○		○	指定管理者からの聞き取り	
						○障害者差別解消法に基づく合理的配慮など、「ともに生きる社会かながわ憲章」の主旨を踏まえた取組	○職員への研修、合理的配慮の具体的な取組、イベント等の参加促進を進める。	○職員への研修を実施するとともに、障がいの有無にかかわらずともに楽しめるイベントを開催した。	障がいの有無にかかわらず、誰もが使いやすい施設づくりに取り組んでいる。引き続き、適切な管理運営に努めてもらいたい。	○				
						○神奈川県手話言語条例への対応（再掲）	○職員への教育 ○手話の使用環境の向上	○職員への手話講習会の開催、手話講習会を受講した職員による対応を行った。	障がいの有無にかかわらず、誰もが使いやすい施設づくりに取り組んでいる。引き続き、適切な取組に努めてもらいたい。	○		○	指定管理者からの聞き取り	
						○社会貢献活動等、CSRの考え方と実績、SDGs（持続可能な開発目標）への取組	○地元企業への発注、地域活性化イベント等の開催 ○学校等の校外学習への協力 ○環境マネジメントシステムの推進による環境負荷の軽減	○清掃業務や植物管理委託、建物保守業務等について秦野市内の事業者へ委託した。 ○遠足等の利用による屋外2mクライミングウォールの案内や秦野戸川公園と連携した運動等の利用促進等を行った。 ○環境マネジメントシステムの推進に基づき、コピー用紙の裏面再利用、電気、ガス、水道、灯油等の使用削減に努めた。	学校等に好評いただき、地域貢献に努めた。また、環境負荷を軽減する取組に努めている。引き続き、適切な取組に努めてもらいたい。	○				

評価項目					審査（評価）の視点 （C）	提案内容 （D）	指定期間 令和4年度の事業実績 （E）	所管課による課題分析等 （F）	事業実績の確認方法 （G）			
選定基準 大項目	選定基準中項目 （A）	小項目 （B）	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他	
Ⅲ 団 体 の 業 務 遂 行 能 力	(10)	事故・不祥事への対応、 個人情報保護	5	4	○募集開始の日から起算して過去3年間の重大な事故または不祥事の有無ならびに重大な事故等があった場合の対応状況及び再発防止策構築状況	○「事故防止対策会議要領」に基づき「事故対策会議」を設置し、事故等にかかる対応策、原因の追究、再発防止、職員への啓発などを実施する。	○重大事故等無し。	綿密な打合せを実施し、事故・不祥事防止に努めている 引き続き、適切な対応に努めてもらいたい。	○			
					○個人情報保護についての方針・体制、職員に対する教育・研修体制及び個人情報の取扱いの状況	○個人情報の保護、取扱いの状況						

※「事業実績の確認方法(G)」欄のうちの「現地」の欄は、「指定期間 令和4年度の事業実績（E）」欄の実績を現地で確認したことを示すもの。

選定基準別提案内容と事業実績の確認
(施設写真)

施設名	山岳スポーツセンター
指定管理者名	神奈川県公園協会・小田急電鉄共同事業体
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	スポーツ課

※施設の概要が分かる写真を3～4枚程度掲載

	
<p>山岳スポーツセンター</p>	<p>宿泊棟</p>
	
<p>クライミング広場 (スポーツクライミング大会)</p>	<p>2mトラバース</p>